GIFU LEADER'S VOICE 2023

都ホテル 岐阜長良川

総支配人 釜谷 祥成氏

―昨年を振り返って。

創業70周年の節目の年でした。2021年に羽島郡岐南町の本社棟と工場棟を、昨年5月に基幹店舗の岐南店を建て替え、ようやくひと段落つきました。工場棟は完全屋内型にしたことで、スタッフの熱中症や寒さ対策につながり働きやすくなったと思います。店舗の中央にキッズスペースを設けたことも、こだわりの一つです。

全社ごとで言えば、関市下有知の店舗を閉鎖することになりましたし、子会社ではありますが大垣にも初の接客を持つことが重要になってきます。日頃のやり取りやイベントなどを通して深めていき、車のことと言えば一番先に「ホンダカーズ岐阜」を思い浮かべていただけるようになることが理想です。

地域に向けては、自治体との連携を強めることで、子どもたちが交通安全教室や高齢者体験などができる機会を増やしていきたい。大阪出身ですが岐阜が大好きです。こんなに良いところは他にありません。岐阜のためにできることを今年も探っていきたいです。

―昨年、岐阜市で開催された第22回日本クリニカルパス学会学術集会では会長を務めましたね。

コロナ禍の中、感染症対策を徹底しながら、リアル開催に約1300人が参加しました。患者の診療計画を電子データ化するクリニカルパスは患者の症状の変化を共有するのに有効で、各病院での導入が求められています。学会では若い医療従事者が多く参加し、今後の医療について話し合えたことが収穫でした。当院でしっかり運営ができたという達成感もありました。

―昨年を振り返って。

11月に開院45周年を迎えました。2013年より徐々に進めてきた改装により、健診を受診する男女の動線を分けず、院内全体を立体的に活用するようにしました。これにより、コロナ禍でも多くの方に安心して受診していただけるという好循環が生まれました。女性の健診受診向上が求められる中、当院の男女比は1対1。多くの女性からの支持を得られていると思っています。3年前にオープンしたフィクササイズセンターも病児保育と軌道に乗っています。昨年というより、この10年の成果がどこでも良い形で出ている中で、45周年という一つの区切りを迎えることができました。

―クリニックの特徴は。

海外を見据えた医療体制構築

当院は一般開業医の先生方と同じ立ち位置ですが、幸い健診のために多くの設備を持ち、診断においては基幹病院に近いことができると自負しています。当院には、さまざまな悩みを持つ方々が訪れるため、幅広い知識と検査法を駆使し幅広い領域を網羅することを心がけています。これに対し、多くの方々を可及的速やかに適切な専門機関へと導く役割を担っていると信じます。

―今後のビジョンは。

テーマは「New Beginning」。次の10年を見据えた内容の充実化、進化を図り、少子高齢化・人口減少に向かう日本の国づくりと同様に、当院の新たな方向性を模索しています。

その一つが「国境を感じさせない、国境を越える医療機関」にすることです。外国人受診者の増加から、将来の管理者となり得る優秀な外国人採用も進めています。この積み重ねで医療機関としての視野を広げ、多様性を受け入れられる体制をつくりたいと思います。先日もタイのシンガポール在住の日本人のオンライン診療をしたところです。さまざまな方法で国境を越えていきたいと考えます。

―新たなサービス展開は。

中小企業向けに、その地域で震度6弱以上の地震が起きた場合、速やかに保険金を支払うインデックス型の地震保険（特約）を発売しました。損害調査や保険金請求の必要がなく、当座の資金として復旧や事業継続に活用いただける、業界初のサービスです。今後も気候変動や地政学的なリスク、仮想空間などテクノロジーの伸展による新たなリスクも予見する中、損害保険会社として課題解決を使命とし、挑戦してまいります。

三井住友海上火災保険株式会社

岐阜支店長 小林 大輔氏

―昨年を振り返って。

DXを活用して社会課題解決に貢献する「CSV×DX」を強力に推進した1年となりました。保険本来の割増ある経済的損失の補償に加え、リスクの予測、予防と復旧といった〝補償前後〟についても、DXを活用して新たなサポートにつなげています。中でも、地域の課題解決に向けた取り組みが急速に進み、岐阜県内でも多くの自治体と包括連携協定等を結ばせました。

―自治体との具体的な取り組みは。

当社が保有するデータをもとに局地的な自然災害を予測し、防災・減災活動をサポートする「防災ダッシュボード」や、ドライブレコーダーが検知した道路破損等の情報を草期修繕に活用する「ドラレコロードマネージャー」などのサービスを展開しています。大規模水害が想定される自治体では、当社が権利証明書の発行手続きを支援する「被災者生活再建支援サポート」も好評を博しています。

CSV×DXで地域課題解決

―今後注力していく取り組みは。

CSV×DXの新たな展開として、飛騨市に開校予定の実践系4年生大学「CoIU（仮称）」と連携し、DXで社会・地域課題を解決する取り組みをスタートします。ここで得た知見を全国展開できるのが、国内200を超える自治体と連携協定を結ぶ当社の強みです。飛騨市を起点とした画期的な共創に、ご期待ください。

―新たなサービス展開は。

弱い地震でも、速やかに保険金を支払うインデックス型の地震保険（特約）を発売しました。損害調査や保険金請求の必要がなく、当座の資金として復旧や事業継続に活用いただける、業界初のサービスです。今後も気候変動や地政学的なリスク、仮想空間などテクノロジーの伸展による新たなリスクも予見する中、損害保険会社として課題解決を使命とし、挑戦してまいります。

医療法人 垣水会 操健康クリニック

院長 操 裕氏

―昨年を振り返って。

11月に開院45周年を迎えました。2013年より徐々に進めてきた改装により、健診を受診する男女の動線を分けず、院内全体を立体的に活用するようにしました。これにより、コロナ禍でも多くの方に安心して受診していただけるという好循環が生まれました。女性の健診受診向上が求められる中、当院の男女比は1対1。多くの女性からの支持を得られていると思っています。3年前にオープンしたフィクササイズセンターも病児保育と軌道に乗っています。昨年というより、この10年の成果がどこでも良い形で出ている中で、45周年という一つの区切りを迎えることができました。

―クリニックの特徴は。

海外を見据えた医療体制構築

当院は一般開業医の先生方と同じ立ち位置ですが、幸い健診のために多くの設備を持ち、診断においては基幹病院に近いことができると自負しています。当院には、さまざまな悩みを持つ方々が訪れるため、幅広い知識と検査法を駆使し幅広い領域を網羅することを心がけています。これに対し、多くの方々を可及的速やかに適切な専門機関へと導く役割を担っていると信じます。

―今後のビジョンは。

テーマは「New Beginning」。次の10年を見据えた内容の充実化、進化を図り、少子高齢化・人口減少に向かう日本の国づくりと同様に、当院の新たな方向性を模索しています。

その一つが「国境を感じさせない、国境を越える医療機関」にすることです。外国人受診者の増加から、将来の管理者となり得る優秀な外国人採用も進めています。この積み重ねで医療機関としての視野を広げ、多様性を受け入れられる体制をつくりたいと思います。先日もタイのシンガポール在住の日本人のオンライン診療をしたところです。さまざまな方法で国境を越えていきたいと考えます。

社会医療法人 蘇西厚生会 松波総合病院

病院長 松波 和寿氏

―消防の救急車の負担を減らす取り組みを進めています。

他の医療機関から当院への搬送の際に、自前の救急車を使用します。本格的な導入はまだ先ですが、当面は羽島郡内を出動エリアに活動する計画です。医師が搬送中の患者の映像を遠隔カメラを通し確認しながら指示を出し、当院の6人の救急救命士が対応します。

住民の安心安全な医療拠点に

―新たながん治療器については。

高周波で腫瘍に熱を加えて治療するがん温熱療法機器「アスクー78」を昨年導入しました。がん治療の補助的な役割を果たす治療器で、熱でがん細胞を壊死させます。副作用が少ないというメリットがあり、標準的がん治療と併用することで効果を発揮します。

―自身が専門の産婦人科は。

昨年4月から不妊治療の保険適用範囲の拡大が、厚生労働省が子宮頸がんワクチンの積極的な接種勧奨を再開したことは喜ばしいことです。ワクチンの接種機会を逃した1997～2005年度生まれの女性に対して、無料で接種を受けられる救済措置もあります。

―今年の抱負を。

コロナ禍の収束を願いつつ、産婦人科医としては多くの赤ちゃんが生まれることを期待します。当院としては地域住民の安心安全な医療を受けられる拠点でありたいと思います。

株式会社ホンダカーズ岐阜

代表取締役社長 西谷 隆志氏

―昨年を振り返って。

準出を果たしました。県下に18店舗を有するホンダ販売店として、より利便性の高いサービスを提供できる体制が整ったと感じています。前向きな人生を送るお手伝いができることにうれしく思います。

―新たな取り組みは。

県内全域で地域連携を深める

ちょうど1年前からパーソナルモビリティ「WHILL（ウィル）」を販売しています。高齢者の足の問題は深刻で、新たな移動手段を提案したいと思い、ご利用いただいています。

―今年の抱負を。

世界的な半導体不足は続いており、納期の長期化は残念ながら続くことが見込まれますので、いかにお客さまとの接点を持つかが重要になってきます。日頃のやり取りやイベントなどを通して深めていき、車のことと言えば一番先に「ホンダカーズ岐阜」を思い浮かべていただけるようになることが理想です。

地域に向けては、自治体との連携を強めることで、子どもたちが交通安全教室や高齢者体験などができる機会を増やしていきたい。大阪出身ですが岐阜が大好きです。こんなに良いところは他にありません。岐阜のためにできることを今年も探っていきたいです。

株式会社 近鉄・都ホテルズ

―新しいワークスタイルの提案を。

会員制のコワーキングスペース「ragan（アラガン）」は、ビジネスで利用しやすい空間を提供しています。定期的に交流会を開き、会員同士のコミュニティーが広がる場にもなっています。最上階のテラスには、テントを設置して自然を感じながら働くスペース「アウトドアワークプレイスキャンピングオフィスギフ・ナガラガワ」を設けました。

―個々のニーズに対応したサービスを模索していますね。

アウトドアが好きな方はテラスでたき火を楽しめます。犬などを飼っている方はペットと一緒に過ごせる滞在プランもあります。対象者はコアになっている方はペットと一緒に過ごせる滞在プランもあります。対象者はコアにな

株式会社 垣水会 操健康クリニック

社会医療法人 蘇西厚生会 松波総合病院

株式会社ホンダカーズ岐阜

都ホテル 岐阜長良川 概要

〒502-0817 岐阜市長良福光2695-2 TEL.058-295-3100
設立 1995年7月
運営 株式会社 近鉄・都ホテルズ
部屋数 192室
事業内容 ホテル業
フィットネスクラブ
https://www.miyakohotels.ne.jp/gifu/

三井住友海上火災保険株式会社 概要

本社 〒101-8011 東京都千代田区神田駿河台3-9
岐阜支店 〒500-8844 岐阜市吉野町6-31スカイイング37西棟 TEL.058-265-6499
設立 1918年(大正7年)10月21日
資本金 1,395億9,552万円
従業員数 13,453人(2022年3月31日現在)
事業内容 損害保険 等
代理店数 32,018店(2022年3月31日現在)
国内ネットワーク 営業課支社407、保険金お支払センター190
海外ネットワーク 41カ国・地域
https://www.ms-ins.com

医療法人 垣水会 操健康クリニック 概要

〒500-8384 岐阜市薮田南1丁目4-20 TEL.058-274-0330
沿革 1932年 ミサヲ小児科開院
1977年 操健康クリニック開院
2014年 人間ドック女性専用フロア開設
2020年 MISAOフィクササイズセンター開設
病児・病後児保育園バンダのしっぽ開設
診療科目 内科、循環器内科、消化器内科、呼吸器内科、放射線科、婦人科、小児科
健診部門 人間ドック、総合健診
併設施設 病児保育、フィクササイズセンター
協力施設 操健康ケアセンター、和治亭、サララMISAO
https://www.docmisao.jp

社会医療法人 蘇西厚生会 松波総合病院 概要

〒501-6062 羽島郡笠松町田代185-1 TEL.058-388-0111
沿革 1902年／岐阜市加納に松波病院を開設
1933年／笠松町に松波外科医院を開設
1988年／南館(SOUTH WING)開設437床
2014年／北館(NORTH WING)開設501床
従業員数 1,395人
社会医療法人 蘇西厚生会理事長／松波 英寿
松波総合病院 病院長／松波 和寿
まつなみ健康増進クリニック クリニック長／花立 史香
介護老人保健施設 施設長／平山 宏史
まつなみリサーチパーク 所長／林 慎
https://www.matsunami-hsp.or.jp

株式会社ホンダカーズ岐阜 概要

本社 〒501-6001 羽島郡岐南町上印食7-1 TEL.058-240-4040
創立 1952年7月5日
資本金 3,600万円
従業員数 285人(男性221人・女性64人) ※2022年12月現在
事業内容 ●自動車の販売並びに整備、発電機・農業機械等汎用製品の販売
●自動車損害賠償保険法に基く保険代理業及びその他の損害保険代理業並びに生命保険の募集に関する業務
取扱車 国内販売車全車種及び福祉車両
グループ会社 ㈱ジーエイチジーイー、㈱ホンダパーツ中部、㈱ホンダファミリーテラダ
https://www.hondacars-gifu.co.jp

新たな変革への挑戦

無断複製・転載を禁じます